夏季号 48巻3号
令和4年7月 No.3

会報 NEWS LETTER

紙リサイクルにもっとたくさんの方が参加する土台づくり。

Topics

- 令和３年度　事業報告
- 紙リサイクル出前授業　実施報告（静岡地区・関東地区）
- 全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2022 募集開始のお知らせ

公益財団法人 古紙再生促進センター

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

目次

P2	理事会報告
P2	令和3年度事業報告
P13	正味財産増減計算書
P15	公益財団法人古紙再生促進センター役員名簿
P15	公益財団法人古紙再生促進センター評議員名簿
P16	活動報告本部
P16	紙リサイクル出前授業①
P18	紙リサイクル出前授業②
P20	カミリィちゃん紹介
P21	統計
	数字でわかる！古紙の世界
P24	お知らせ本部
	全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022 募集開始のお知らせ
P26	センター日誌

令和3年度 事業報告

令和３年度は、世界的に新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るい国内外における古紙を取り巻く環境が大きく変化する中、日本の紙リサイクルシステムの維持、古紙品質の維持・向上に向け、古紙品質安定対策事業、広報事業、調査研究事業及び紙の資源リサイクル安定化対策事業４つの柱として取り組んできた。コロナ禍において、一部事業の中止や延期を余儀なくされたものの、令和３年度事業は次のとおり実施した。

1.古紙品質安定対策事業

中国の古紙輸入“０”ならびに東南アジアの低品質古紙輸入禁止の動きが拡大する中、古紙品質の維持向上を図るための事業を実施した。また、新たに「個別品質対策」では基礎的な古紙品質情報を必要とする地方自治体等の環境行政担当者や関係団体のニーズを探り、その啓発ツールを作成し提供した。

（1）古紙品質調査事業（平成 24 年度から継続）

北海道地区、東北地区、関東地区、中部地区、近畿地区、中・四国地区、九州地区で発生する古紙について、製紙工場において古紙の開梱組成調査を実施した。

地　区	段ボール	新　聞	雑　誌
北海道地区	１工場　１ベール	２工場　２ベール	
東北地区	１工場　２ベール		
関東地区	５工場　10 ベール	４工場　８ベール	10 工場　20 ベール
中部地区	３工場　６ベール	２工場　４ベール	４工場　８ベール
近畿地区	３工場　12 ベール	１工場　４ベール	１工場　１ベール
中・四国地区	２工場　４ベール	１工場　２ベール	１工場　２ベール
九州地区	２工場　３ベール	２工場　４ベール	３工場　５ベール

段ボール、新聞、回収雑誌の開梱組成調査の結果は以下のとおりである。

【段ボール】	段ボール	その他紙〈基準 3% 以下〉	禁忌品（A+B）〈基準 0.3% 以下〉
令和３年度	96.7%	1.8%	1.5%
令和２年度	97.9%	1.6%	0.6%
過去８年平均注	96.3%	2.8%	0.9%

注）過去８年平均は、平成 24 年度～令和元年度の８年間の平均。

【新　聞】	新聞	チラシ	その他紙〈基準 1% 以下〉	禁忌品（A+B）〈基準 0.3% 以下〉
令和３年度	64.2%	33.5%	2.1%	0.2%
令和２年度	62.7%	34.5%	2.5%	0.3%
過去８年平均	61.3%	36.1%	2.2%	0.3%

【雑　誌】	雑誌	その他紙〈基準 5% 以下〉	禁忌品（A+B）〈基準 0.5% 以下〉
令和３年度	66.4%	32.9%	0.7%
令和２年度	67.0%	31.9%	1.1%
過去８年平均	62.8%	36.1%	1.1%

（2）古紙品質情報ネットワークの運用

古紙品質トラブル報告及びトラブルに至らなかったもので改善を促した古紙品質情報の報告を全国で実施した。報告を受けた情報は、各地区委員会に報告すると共に全国製紙原料商工組合連合会の会員専用ホームページに掲載を依頼した。

古紙品質トラブルの報告件数は以下のとおりである。

（　）は昨年度件数

地　区	感熱性発泡紙	臭いのついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
東　北　地　区					0　(1)	0　(1)
関　東　地　区	4　(6)	1　(1)	7　(5)	5　(2)	5　(4)	22　(18)
近　畿　地　区		0　(3)		0　(2)		0　(5)
中 四 国 地 区					0　(1)	0　(1)
合　　計	4　(6)	1　(4)	7　(5)	5　(4)	5　(6)	22　(25)

品質改善を促した古紙品質情報は、製紙工場での受入れ時もしくは仕込み時の検収におけるもので、報告件数は以下のとおりである（令和３年４月～令和４年２月集計）。

【受入れ時検収】	感熱性発泡紙	臭いのついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
北 海 道 地 区		5		55	78	138
東　北　地　区					4	4
関　東　地　区		144		192	142	478
静　岡　地　区		10		1	258	269
中　部　地　区	1	2		13	13	29
近　畿　地　区		4		43	67	114
中・四国地区		9		2	161	172
九　州　地　区		51		67	303	421
合　　計	1	225	0	373	1,026	1,625

【仕込み時検収】	感熱性発泡紙	臭いのついた紙	昇華転写紙	ロウ段	その他	計
東　北　地　区		1		108	69	178
関　東　地　区			14			14
静　岡　地　区						0
中　部　地　区		2		24	49	75
近　畿　地　区		11		8	4	23
九　州　地　区	5	6	6	33	76	126
合　　計	5	20	20	173	198	416

（3）個別古紙品質対策

製紙メーカー工場でロウ引き段ボール及び油汚れが付着した段ボールの発見が増加したことから、関東製紙原料直納商工組合作成の混入防止リーフレットのデザイン提供を受け、センターでロウ引き段ボール及び油汚れが付着した段ボールの混入防止リーフレットを作成し配付した。

また、実物サンプルを入れた禁忌品見本帳を作成し配付した。

2.広報事業

紙リサイクルの促進を図るため、古紙排出時の分別及び禁忌品除去の徹底や未利用古紙の掘り起こし等に関する事業をコロナ禍において可能な範囲で実施し、基礎的な古紙品質情報を必要とす

る地方自治体等の環境行政担当者への啓発冊子の作成や未来の紙リサイクル促進を見据え小中学生を対象とした啓発事業、紙リサイクルセミナーの実施に取り組んだ。また、『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』については、応募点数の増加等、さらなる内容の充実を図った。

（1）紙リサイクル啓発事業

1）紙リサイクル研修会

研修会を対面にて２件、オンラインでの録画公開の方法にて１件実施した。新型コロナウイルス感染防止の観点から一堂に会して研修会を実施するのは難しいことから、今後はウェブを活用したオンライン研修会の拡大を検討する。

開催日	開催地	対象者	参加者数	申込団体等
令和3年 11月19日	石川県金沢市	石川県再生資源事業協同組合、 金沢市等	16名	石川県再生資源事業 協同組合
令和4年 1月19日	北海道千歳市	集団資源回収を行っている 千歳市内の町内会等所属者	32名	公益財団法人ちとせ 環境と緑の財団
令和4年 2月中	オンライン 録画公開	港区内事業者	224名	港区環境リサイクル支援部 みなとリサイクル清掃事務所
実施数：3回・参加者数：272名				

2）紙リサイクル出前授業

ア 出前授業の実施

主に小学生高学年を対象に、対面とオンラインを併用して実施した。コロナ禍でも出前授業の実施を希望する学校が多く、オンラインでの実施は昨年度の５校・団体から、16 校・団体に増加した。また、オンラインでの出前授業では学校側の負担軽減のため、要望に応じてシルバー人材センター会員を派遣し、準備、片付けのサポートを行った。

実施数は 45 校・団体（対面 29 件、オンライン 16 件）、参加者は 2,817 名（対面 1,501 名、オンライン 1,326 名）。

地　区	実施日	対象校等・学年	形式	参加者数
関　東	令和3年　5月21日	朝霞市立第四小学校4年生	online	109名
	6月12日	板橋区1～6年生	対面	17名
	6月17日	加茂市立加茂南小学校4年生	対面	39名
	7月21日	朝霞市4～6年生	対面	24名
	8月　3日	松原まちづくりセンター1～5年生	対面	13名
	8月18日	千葉市立磯辺小学校高学年ルーム4～6年生	対面	21名
	8月26日	市川市立信篤小学校学童保育クラブ1～4年生	対面	29名
	9月16日	千葉市立川戸小学校4年生	対面	49名
	9月28日・29日	横浜市立帷子小学校4年生	online	51名
	10月4日・7日	中央区立明石小学校4年生	対面	98名
	10月　8日	朝霞市立朝霞第二小学校	対面	122名
	10月18日	坂戸市立桜小学校3年生	対面	58名
	10月26日	志木市立宗岡第三小学校4年生	対面	55名
	11月　2日	多摩市立多摩第一小学校4年生	対面	116名
	11月　5日	目黒区立下目黒小学校4年生	対面	68名
	11月10日	横浜市立入船小学校5年生	対面	20名
	11月17日	横浜市立洋光台第四小学校4年生	対面	46名

地　区	実施日	対象校等・学年	形式	参加者数
関　東	12月 9日	横浜市立芹が谷南小学校3年生	対面	20名
	令和4年 2月 9日	柏市立増尾西小学校	online	12名
静　岡	令和3年 6月17日	富士市立吉永第二小学校4年生	対面	22名
	6月21日	富士市立原田小学校4年生	対面	55名
	6月23日	富士市立吉永第一小学校4年生	対面	65名
	6月25日	富士市立富士川第二小学校4年生	対面	51名
	7月 6日	富士市立富士第一小学校4年生	対面	132名
	7月 8日	富士宮市立吉原小学校4年生	対面	82名
	7月13日	富士市立東小学校4年生	対面	9名
	7月16日	富士市立青葉台小学校4年生	対面	73名
	10月27日	富士市立田子浦小学校4年生	対面	85名
	12月 3日	富士市立神戸小学校4年生	対面	43名
	令和4年 1月17日	富士市立富士見台小学校4年生	対面	46名
中　部	令和3年 6月 9日	名古屋市立広路小学校4年生	online	79名
	6月29日	岐阜市立城西小学校4年生	online	54名
	7月13日・16日	名古屋市立松栄小学校4年生	online	142名
	9月27日・10月 1日	名古屋市立稲葉地小学校4・5年生	online	220名
	10月20日	岐阜市立本荘小学校5年生	online	103名
	11月16日	岐阜市立青山中学校1年生	online	53名
	1月21日	東海市立渡内小学校4年生	online	84名
	令和4年 2月 1日	岐阜市立厚見中学校1年生	online	28名
	3月26日	豊橋市小学生・保護者等	online	27名
近　畿	令和3年 7月 6日	大阪市立三先小学校4年生	online	80名
	10月14日	寝屋川市立国松緑丘小学校4年生	online	44名
	12月16日	大阪市立長吉南小学校5年生	online	39名
	令和4年 3月18日	神戸市立霞ヶ丘小学校4年生	online	191名
中･四国	令和3年 9月24日	島根県立松江養護学校 安来分教室1～2年生	対面	6名
	11月17日	高松市立高松第一小学校6年生 高松市立高松第一中学校1年生	対面	37名
実施数：45校・団体、参加者数：2,817名（昨年度27校・団体、1,327名）				

イ 小学生版出前授業の授業評価

小学生版出前授業の内容は平成 25 年（2013 年）の開始以来大きな変更なく継続して実施していることから、時代の変化も考慮し学校のニーズに則しているか改めて検証するため授業評価を開始した。

本事業は大学の研究室と連携し教材などを開発している企業教育研究会に委託して令和 3 年度～令和 4 年度にかけて実施することとし、令和 3 年度は既存テキストの問題の洗い出し等を行った。

ウ 中学生版出前授業の開発

紙リサイクル出前授業は小学生向けの教材しか制作していないが、中学校でも実施していくことを考え、中学生版教材の開発を行った。

本事業は令和 3 年度～令和 4 年度にかけて開発することとし、令和 3 年度は紙リサイクルの内容の出前授業に対する学校側のニーズや学習指導要領との関連の確認作業及び中学校教員へのヒアリング準備を行った。

3）地域広報活動

各地区委員会での紙リサイクルイベントへの参加は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの中止、あるいは参加を一部見合わせた。

中部地区委員会では、「ながのエコウィーク 2021」に参加した。

また、同地区委員会では、出前授業副読本として、「やってみようSDGs紙リサイクルでゆたかなみらいへ」を作成した。

九州地区委員会では、毎年作成している子供向け「紙リサイクル読本」を作成し配布した。

4）紙リサイクルセミナー

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行ったうえで、下記テーマにて実施した。感染防止対策としては会場参加者人数の制限に加え、ライブ配信及び録画配信を実施した。

日　時	令和3年10月15日13時30分～16時10分		
会　場	星陵会館	会場参加者数	48名
		ライブ配信視聴者数	約140名
		録画視聴者数	約820名
講　演	①「Towards2030～SDGs目標に対するワーキンググループ検討結果～」 日本製紙連合会SDGs委員会委員長 日本製紙株式会社　参与 CSR本部長　上野 満男 氏		
	②「自治体の古紙回収の取組みと課題～紙リサイクル施策調査より～」 有限会社グローバルプランニング　取締役 小笠原 秀信 氏		
	③「中国製紙業界と東南アジア諸国の現状」 国際紙パルプ商事株式会社　グローバルビジネス統括本部 製紙原料営業本部 本部長 中道 徹 氏		

5）啓発資料等の配布

ア 会報

センターの活動状況、海外の古紙に関する情報等を会報（年 4 回、1,100 部 / 回）として発行した。また、会報デザインのリニューアルを実施し、令和 4 年度から新デザインで発行する。

イ 古紙ハンドブック

隔年発行の『古紙ハンドブック 2021』を作成し配布した。

ウ 自治体向け紙リサイクルハンドブック

全ての自治体で紙リサイクルに関する情報を共有することを目的にセンター発行の啓発冊子から抜粋した『自治体向け紙リサイクルハンドブック 2021 年版』を作成し配布した。

エ 啓発資料の配布

啓発資料は地方自治体・関係団体等へ提供を行った。

内　訳	件数
チラシ、パンフレットの提供	101件
DVDの提供	2件
啓発用パネルの貸出し	0件

オ ホームページ

SDGs に関する啓発並びにセンターの SDGs への取り組みを発信することを目的に Web ページを新しく作成し、10 月に公開した。

6）紙リサイクルコンテスト

13 回目となる「全国小中学生 “ 紙リサイクル ” コンテスト 2021」は、令和元年度から継続して文部科学大臣賞の交付を受け、また、コロナ禍での実施であったが応募点数の増加のために内容を充実し、過去最高の 3,274 点の応募があった。

全国小中学校環境教育研究会をはじめとする教育関係者等による厳正な審査のうえ、文部科学大臣賞や金賞などの各賞を決定した。

表彰式は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止し、入賞者の賞状や副賞は原則学校へ郵送し、各学校にて表彰した。

後援：文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、全国小中学校環境教育研究会、読売新聞社、全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、段ボールリサイクル協議会、日本製紙連合会

【文部科学大臣賞】

部　門	都道府県	学校名・学年	氏　名	タイトル
作文	宮 城 県	気仙沼市立松岩中学校2年	佐 藤 里 桜	リサイクルで仲間の輪
ポスター	大 阪 府	堺市立東三国丘小学校5年	小 林 美 琴	資源も命のように大切に

【金賞】

部　門		都道府県	学校名・学年	氏　名	タイトル
作文	小学生部門	福 岡 県	北九州市立足立小学校6年	小 田 孝 太 朗	ワンチームでの挑戦
	中学生部門	山 梨 県	山梨学院中学校2年	名 倉 湧 希	世界に届け、 生命とリサイクルの輪
ポスター	小学生部門	鹿児島県	霧島市立天降川小学校3年	野 崎 宏 太	待ってました
	中学生部門	東 京 都	文京区立音羽中学校2年	宿 谷 艶	ぜひお古紙ください。 持続可能な未来へ…

【特別金賞】

部　門	都道府県	学校名・学年	氏　名	タイトル
全国製紙原料商工組合連合会 理事長賞	愛 知 県	岩倉市立岩倉北小学校3年	高 峰 は る か	わたしの生活の 紙リサイクル（作文）
日本再生資源事業協同組合連合会 会長賞	兵 庫 県	小林聖心女子学院中学校1年	山 縣 志 帆	ひろがれ リサイクルの輪（作文）
段ボールリサイクル協議会 会長賞	北 海 道	札幌市立真栄小学校2年	サ ム ソ ノ ー 織 美 愛	いざっ！うまれかわりにしっかりわけてね紙リサイクル（ポスター）

【銀賞】

部　門		都道府県	学校名・学年	氏　名	タイトル
作文	小学生部門	福 岡 県	明治学園小学校2年	能 美 に な	できる？できない？ 知ろう！紙リサイクル
	中学生部門	愛 知 県	東浦町立北部中学校3年	笠 松 大 輝	祖父の「ある」行動
ポスター	小学生部門	岩 手 県	北上市立黒沢尻東小学校1年	青 木 創 志 朗	リサイクルでまたあおう！
	中学生部門	宮 城 県	仙台二華中学校3年	小 川 怜 禾	未来へつなぐ紙リサイクル

【佳作】

部門		都道府県	学校名・学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	大阪府	関西創価小学校4年	細田　幸	生まれ変わる紙と、二つの合言葉
		福岡県	明治学園小学校3年	野入桃子	雑にあつかわないで！雑紙の願いと私達の暮らし
		高知県	高知市立大津小学校6年	髙橋　奏	紙は大切な資源という宝物
	中学生部門	静岡県	静岡市立蒲原中学校3年	久保田　華	リサイクルの輪
		静岡県	静岡市立蒲原中学校3年	森　美温	めんどくさかった…けど。
		静岡県	浜松市立浜名中学校1年	小梢蒼依	「紙リサイクル」で地球の未来を守る
ポスター	小学生部門	福岡県	福岡市立那珂南小学校2年	浅井颯汰	変身リサイクル！紙のヒーロー
		福岡県	福岡市立那珂南小学校3年	押方茉希	牛乳パックをリサイクルして作ったエコバック
		東京都	武蔵村山市立雷塚小学校5年	大平華鈴	つなげよう！広げよう！紙リサイクル
	中学生部門	神奈川県	川崎市立高津中学校1年	上野文菜	「繋ぐ」
		佐賀県	佐賀県立武雄青陵中学校2年	野中夏希	まわそう、リサイクルのサイクル
		宮城県	仙台市立南光台中学校2年	半澤美海	楽しみをくりかえす。

【学校特別賞】

都道府県	学校名
山口県	岩国市立灘中学校
高知県	日高村佐川町学校組合立加茂中学校

【学校奨励賞】

部門	都道府県	学校名
小学生部門	兵庫県	神戸市立霞ヶ丘小学校
中学生部門	福島県	白河市立白河中央中学校

7）未利用古紙の掘り起こし・品質確保等の啓発

紙リサイクル及びセンター事業とSDGsの関わりを整理し、レポートの取りまとめを令和3年度～令和4年度にかけて実施することとした。令和3年度は紙リサイクルとSDGsの関わりの整理を行った。

（2）紙リサイクル普及事業

1）顕彰制度

ア 集団回収実施団体感謝状贈呈

各地区委員会から推薦のあった集団回収実施団体（56団体）に感謝状を贈呈した。昭和62年開始から累計で1,065団体となった。

推薦地区	団体名
北 海 道	屯田日鉱団地町内会、清流町内会、しれにあ町内会、東川町会、拓殖老人クラブさわやか
東　北	板柳町立板柳南小学校、若松町町内会、若葉町衛生組合、山形市立第二小学校ＰＴＡ、館小学校父母教師会、長町西町一地区第3子供会グランマークスクエア、名倉町会保健委員会、四丁目子供育成会
関　東	堀切四丁目中町会、浮洲文化会、ファミールグラン代々木西原デクスターハウス管理組合、野口町一丁目自治会、渋沢中学校PTA、六浦睦町内会、加岸自治会、美花小PTA、深谷市立岡部中学校PTA、深谷市立花園中学校PTA、阿久津町育成会、ひまわり幼稚園PTA、水海道小学校
新　潟	社会福祉法人更生慈仁会青松ワークス、南浜ダッシャーズ、神明自治会、五十嵐二の町自治会
静　岡	富士宮市立柚野小中学校PTA、富士市立田子浦中学校PTA
中　部	春日井市弥生区、大曽根八軒屋町自治会、八千代台自治会協議会、大江スポーツ少年団、新堅町地区少年連盟、藤の木小学校PTA、古里小学校教育振興会、笛吹市立境川小学校PTA
近　畿	イトーピア、清水子供会、たつの市立揖西西小学校PTA、たつの市立揖西東小学校PTA
中･四国	彦崎野球スポーツ少年団、西高崎老人クラブ、市場子ども会育成会、興除青空子ども会
九　州	泉ヶ丘八町内自治会廃品回収係、健軍校区第6町内自治会、高城台自治会、金田集会所運営委員会、五条台区自治会、高鍋婦人会、香椎浜サンハイツ第二自治会、多賀野間台自治会

イ 紙リサイクル関連団体等表彰

愛知県古紙協同組合設立 50 周年に対し、表彰を行った。

2）グリーンマーク

令和 3 年度の申請に関しては下表のとおり承認した。

【表示承認】	令和 3 年度	累 計
事業者数	16 事業者（新規承認事業者 8 件）	195 事業者
件数	33 件	744 件

【表示内容変更】	令和 3 年度
事業者数	6 事業者
件数	8 件

3. 調査研究事業

国内の調査については、コロナ禍影響に伴う、古紙発生構造の変化や、各地方自治体におけるリサイクル変化等につき地方自治体古紙関連施策調査及びオフィス発生古紙リサイクル実態調査、家庭紙業界の現状と課題の調査を実施した。また、海外の調査については、新型コロナウイルス感染拡大により現地調査が難しくなったことから調査内容を次年度に再検討することとした。

（1） 国内資源化調査

1）雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

事業所の古紙発生及びリサイクル状況を把握するための“オフィス発生古紙リサイクル実態調査”を実施し、調査結果をまとめた。

2）地方自治体古紙関連施策調査

ア 地方自治体紙リサイクル施策調査

地方自治体の紙リサイクル施策等に関するアンケート調査を全市区町村対象に行い、1,181 市区町村より回答があり（回答率 67.8%）、その結果を報告書にまとめて地方自治体や製紙・古紙業界関係者等に配付した。

【地方自治体古紙関連施策調査結果の一部概要】

今年度は調査の１つとして可燃ごみに占める「紙類」の割合について調べた（家庭系可燃ごみの湿ベースによる組成調査）。その結果、可燃ごみに占める「資源化できる紙」の割合は12.7% であった。

併せて調査した可燃ごみの重量から可燃ごみに含まれる資源化できる紙の重量を推計すると、約 161 万 t/ 年になった。

イ 紙リサイクル先進自治体の実態調査

住民一人当たりの古紙回収量（原単位）が多い自治体を「紙リサイクル先進自治体」として整理し、その要因を抽出・分析することで全国の自治体が資源回収や古紙回収の施策を策定する際に活用できる基準を示すことを目的に調査を開始した。

本事業は令和３年度～令和４年度にかけて調査することとし、令和３年度は全市区町村の住民一人当たりの古紙回収量を算出し、カテゴリー別に先進自治体を整理した。

3）新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

リサイクル性の観点で、環境対応の紙・プラ複合素材に関する情報を収集した。また、段ボール古紙の一部にカビのようなものが付着している報告があり、原因調査を実施した。

欧米の古紙品質を調査する予定であったが、新型コロナウイルスの変異株の影響により海外での古紙開梱組成調査を中止した。

4）未利用古紙の回収ネットワーク構築

家庭紙業界の現状と課題に関する調査として、家庭紙向け古紙（上物古紙等）の発生及び家庭紙の市場について現状の基礎データを収集、関連する課題を整理し、生産量の将来推計及び家庭紙業界の将来シナリオ等についてまとめた。

5）国・地方自治体等の紙リサイクル推進への協力

ア 経済産業省「アジア紙リサイクル構築支援事業」

平成 30 年度～令和２年度にかけてインドでのリサイクルシステム構築支援のため、現地視察、当センターのリサイクル事業の複数回の講義、指導を行う中で、インド版古紙再生促進センター設立が検討された。その後、コロナ禍を経て令和３年度にインド政府により正式承認を得た。また、令和４年度よりインド２都市への設置が進められる予定となっており、センターも日本製紙連合会を窓口に技術的なフォローを行っていく。

イ 紙製容器包装リサイクル推進協議会主催の技術委員会

ウ 包装技術委員会／ ISO1860 委員会

エ 全国牛乳容器環境協議会／意見交換会（紙パックリサイクル取組状況報告）

オ 越谷市廃棄物減量等推進審議会

（2）海外市場調査

中国の古紙輸入規制後の状況等の把握及びポスト中国としてベトナムを始めとした東南アジア諸国との情報交流についての検討を開始したが、世界的なコロナ流行の影響もあり、断片的な情報収集となった。

（3） 統計調査

1） 古紙統計年報

古紙の入荷量・消費量データを基に古紙統計をとりまとめ、関係各方面に提供した。

2） 国内統計・資料作成

経済産業省紙パルプ統計（生産・出荷・在庫統計、原材料統計）、財務省貿易統計（古紙、紙類、パルプ）等のデータについて収集・整理・分析・加工するとともに、製紙メーカーを対象に紙･板紙の生産量、紙･板紙生産のために要した繊維原料（古紙、パルプ等）などについて調査･集計し、以下の統計をまとめ、ホームページ等を活用し、広く一般に提供した。

ア 年間古紙需給統計
イ 古紙需給推移（品種別）
ウ 紙・板紙向別古紙品種別消費量推移
エ 古紙回収率推移
オ 古紙利用率推移
カ 古紙品種別輸出先別輸出実績
キ 古紙品種別輸入先別輸入実績
ク 中国の古紙輸入量（地域別・品種別）
ケ 古紙消費原単位

3） 海外統計

中国造紙協会、台湾造紙協会、欧州製紙連合会、米国森林製紙協会、RISIの古紙関連統計を収集し、関係各方面に提供するとともにホームページや会報に掲載した。

4.紙の資源リサイクル安定化対策事業

古紙の回収量が国内消費量を上回る我が国において、安定的な需給バランスをベースとした持続的な回収システムの維持は社会的にも大きな課題であり、国内では少子高齢化に伴う人口構造変化、都市集中・地方過疎化、デジタル化、また世界的にはサーキュラーエコノミーを始めとした循環経済推進のうねりが高まる中、国内・外の中長期的な課題整理に向けて検討し、調査を始めた。

（1） 古紙余剰対策事業

1） 紙リサイクル維持対策（備蓄事業）

中国の古紙輸入“0”に伴い、古紙余剰が懸念されたことから、製紙メーカー、古紙問屋、日本製紙連合会、全国製紙原料商工組合連合会をメンバーとする「日本の紙リサイクル維持に向けて」の会議を定期的に開催し、状況の把握･共有を図った。センターの備蓄事業は実施しなかった。

（2） 紙の資源リサイクル安定化施策事業

1） 海外調査研究

日本の紙リサイクル安定化のため、欧米を中心に広がっているサーキュラーエコノミーの考えが欧米の製紙・古紙業界に与える影響やアジア諸国の古紙輸入規制が世界の古紙貿易フローへ与える影響等について調査した。

2） リサイクル方法の調査研究

低質古紙の製紙原料以外への利用実態を調査し、報告書に取りまとめた。

3）紙リサイクルの維持

ア 中長期的な紙・板紙生産（内需）及びそれに伴う古紙消費量予測に関する調査

既存のデータについて生産品目ごとに統計手法を用いて将来推計を行い、文献調査やヒアリング調査を通じて、紙・板紙の生産量、古紙発生量と回収量、古紙消費量の増減に影響を及ぼす可能性のある周辺情報を収集し、補正情報として将来推計値を補正するための調査を開始した。本調査は令和３年度～令和４年度にかけて実施することとし、令和３年度は既存データに基づく生産品目ごとの将来推計を実施した。

イ オープンセミナー企画・運営

中長期の日本における紙リサイクルのあり方を考えるにあたって、前提となる社会・経済状況の変化や将来像、その課題の共有化を目的とし、「メガトレンド」をキーワードとしたオンラインセミナーの企画・検討を開始した。当事業は令和３年度～令和４年度にかけて実施することとし、令和３年度は第１回講演動画の撮影及び公開並びに第２回講演動画の撮影を行った。

ウ 地区委員会におけるヒアリング調査

全国の紙リサイクル関係者に対し、今後の検討課題整理に向けたテーマについての要望・意見並びにそれに伴うセンター事業運営の方向性への意見等、ヒアリング調査を通じての把握、さらに紙リサイクルの実態と展望、中長期ビジョンを検討していくうえで今後の社会・経済状況の変化並びにトレンドについての把握を開始した。当調査は令和３年度～令和４年度にかけて実施することとし、令和３年度はヒアリング先の選定･ヒアリング項目検討のための基礎調査を行った。

エ 古紙物家庭紙の実態と SDGs の観点からみた取り組み課題に関する調査

古紙物家庭紙の全体像を把握するために、家庭紙メーカーや地方自治体、消費者団体、消費者、スーパーなど幅広いステークホルダーを対象にアンケート調査を行い、取りまとめることで実態の把握を開始した。また、アンケート調査結果に基づいて家庭紙業界関係者にヒアリングを行い、古紙物家庭紙全般の現状や将来展望などの聞き取りを行う。当調査は令和３年度～令和５年度にかけて実施することとし、令和３年度は調査対象の選定と調査方法の検討を行った。

オ 古紙再生・回収選別・製紙工場納入に係る GHG と Scope3 の算定に関する調査

過去の古紙利用と環境影響に関わる基礎データや考え方を整理し、現状の「古紙発生～回収～選別加工～製紙工場」に於ける GHG（温室効果ガス =CO_2）及びサプライチェーンに於ける「Scope3（原料調達段階）」の算定を令和３年度～令和４年度にかけて実施することとし、令和３年度は過去の文献等の整理を行った。

5.その他の事業

コロナ禍により、各地区委員会において計画していた古紙に関する情報交換、研修会等は、一部事業で実施したものの、ほとんどの事業で中止となった。

以上

正味財産増減計算書

（令和３年４月１日から令和４年３月 31 日まで）

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
（１）経常収益			
基本財産運用益	**520**	**2,607**	**△ 2,087**
基本財産受取利息	520	2,607	△ 2,087
特定資産運用益	**68,219**	**258,527**	**△ 190,308**
特定資産受取利息	68,219	258,527	△ 190,308
受取会費	**227,956,138**	**222,468,216**	**5,487,922**
賛助会員受取会費	227,956,138	222,468,216	5,487,922
受取寄付金	**805,810**	**698,390**	**107,420**
受取寄付金	805,810	698,390	107,420
雑収益	**404,803**	**563,974**	**△ 159,171**
雑収益	404,803	563,974	△ 159,171
経常収益計	**229,235,490**	**223,991,714**	**5,243,776**
（２）経常費用			
事業費	**210,463,239**	**174,158,314**	**36,304,925**
役員報酬	20,927,000	20,495,000	432,000
給料手当	46,310,000	48,329,000	△ 2,019,000
福利厚生費	9,932,000	9,459,000	473,000
役員賞与引当金繰入額	2,745,000	2,745,000	0
賞与引当金繰入額	3,658,000	3,497,000	161,000
役員退職慰労引当金繰入額	2,420,000	2,420,000	0
退職給付費用	1,512,000	829,000	683,000
会場費	595,914	603,355	△ 7,441
資料作成費	2,267,942	678,684	1,589,258
啓発活動費	3,414,000	3,264,000	150,000
広告料	60,000	168,900	△ 108,900
システム費	1,090,100	1,010,680	79,420
委託費	58,799,666	39,024,665	19,775,001
会議費	45,966	37,240	8,726
旅費交通費	935,137	980,872	△ 45,735
通信運搬費	5,087,000	3,617,232	1,469,768
減価償却費	2,723,880	2,377,880	346,000
消耗品費	2,675,296	2,405,043	270,253
印刷製本費	12,745,712	2,919,878	9,825,834
新聞図書費	4,500,322	1,656,684	2,843,638
水道光熱費	1,093,000	1,128,000	△ 35,000
賃借料	25,587,920	25,990,180	△ 402,260
諸会費	29,040	57,972	△ 28,932
諸謝金	120,277	150,277	△ 30,000
租税公課	81,200	23,600	57,600
支払手数料	40,040	20,000	20,040
雑費	340,030	75,752	264,278
地区事業費	726,797	193,420	533,377

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
管理費	**21,850,526**	**21,221,594**	**628,932**
役員報酬	1,576,080	1,542,600	33,480
給料手当	3,994,104	4,508,828	△ 514,724
福利厚生費	858,103	868,814	△ 10,711
役員賞与引当金繰入額	205,000	205,000	0
賞与引当金繰入額	585,900	622,600	△ 36,700
役員退職慰労引当金繰入額	184,000	184,000	0
退職給付費用	193,800	189,600	4,200
会場費	38,740	29,800	8,940
広告料	170,000	100,000	70,000
システム費	2,521,756	1,961,270	560,486
委託費	398,000	552,750	△ 154,750
会議費	1,195,000	926,836	268,164
旅費交通費	419,059	440,466	△ 21,407
通信運搬費	193,307	184,972	8,335
減価償却費	106,889	71,637	35,252
消耗品費	216,785	231,362	△ 14,577
印刷製本費	35,480	37,940	△ 2,460
新聞図書費	23,650	22,840	810
水道光熱費	109,061	114,179	△ 5,118
賃借料	2,526,564	2,541,663	△ 15,099
諸会費	530,440	434,700	95,740
諸謝金	4,593,447	4,647,464	△ 54,017
租税公課	39,300	9,900	29,400
支払手数料	299,695	304,095	△ 4,400
雑費	836,366	488,278	348,088
経常費用計	**232,313,765**	**195,379,908**	**36,933,857**
当期経常増減額	△ 3,078,275	28,611,806	△ 31,690,081

２．経常外増減の部

（１）経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
（２）経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,078,275	28,611,806	△ 31,690,081
一般正味財産期首残高	2,473,351,725	2,444,739,919	28,611,806
一般正味財産期末残高	2,470,273,450	2,473,351,725	△ 3,078,275

Ⅱ 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0

Ⅲ 正味財産期末残高	**2,470,273,450**	**2,473,351,725**	**△ 3,078,275**

公益財団法人古紙再生促進センター役員名簿

令和４年６月 17 日現在（敬称略・順不同）

役　職	氏　名	所属会社・団体名等
代表理事（理事長）	長谷川　一　郎	レンゴー株式会社
業務執行理事（副理事長）	小　貫　裕　司	王子ホールディングス株式会社
業務執行理事（副理事長）	佐　藤　耕　一	日本製紙株式会社
業務執行理事（副理事長）	栗　原　正　雄	栗原紙材株式会社
業務執行理事（副理事長）	大久保　信　隆	株式会社大久保
業務執行理事（専務理事）	川　上　正　智	公益財団法人古紙再生促進センター
業務執行理事（常務理事）	櫻　井　孝　史	公益財団法人古紙再生促進センター
理　事	雨　宮　敏　幸	公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
理　事	飯　田　　悟	特種東海マテリアルズ株式会社
理　事	飯　田　俊　夫	飯田環境クリーン株式会社
理　事	石　川　喜一朗	株式会社石川マテリアル
理　事	石　墳　守　男	機械すき和紙連合会
理　事	岩　渕　慶　太	株式会社イワフチ
理　事	上　田　晴　健	三弘紙業株式会社
理　事	遠　藤　　豊	日本紙パルプ商事株式会社
理　事	菊　池　初　彦	株式会社丸元紙業
理　事	北　村　貴　則	大和板紙株式会社
理　事	草　加　信　平	北越コーポレーション株式会社
理　事	倉　持　徹　雄	一般社団法人日本印刷産業連合会
理　事	小　六　信　和	明和製紙原料株式会社
理　事	白　峰　幹　郎	大王製紙株式会社
理　事	鈴　木　隆　男	山形資源株式会社
理　事	田　北　裕　之	大分製紙株式会社
理　事	西　原　壽　志	丸住製紙株式会社
理　事	長谷川　裕　一	株式会社もっかいトラスト
理　事	原　田　隆　行	日本製紙連合会
理　事	水　口　　隆	興亜工業株式会社
理　事	矢　倉　義　弘	大和紙料株式会社
理　事	山　田　大　輔	三菱製紙株式会社
理　事	吉　浦　高　志	株式会社久米川紙業
監　事	松　田　明　彦	丸三製紙株式会社
監　事	須　長　利　行	株式会社二見

公益財団法人古紙再生促進センター評議員名簿

令和４年６月 17 日現在（敬称略）

氏　名	所属会社・団体名等
安　藤　圭　一	株式会社三井住友銀行 元代表取締役兼副頭取執行役員（現　銀泉株式会社非常勤特別顧問）
磯　貝　　明	東京大学特別教授
梅　田　愼　也	株式会社宮崎　代表取締役会長
大　坪　　清	レンゴー株式会社　代表取締役会長　兼 CEO
加　來　正　年	王子ホールディングス株式会社　代表取締役会長
佐　野　　一	株式会社丸興佐野錦一商店　代表取締役会長
野　沢　　徹	日本製紙株式会社　代表取締役社長
畑　　俊　一	株式会社山室　名誉会長
服　部　　弘	弁護士
平　井　成　子	全国牛乳パックの再利用を考える連絡会　代表
村　山　憲　二	公認会計士

静岡地区

出前授業

富士市立 吉永第二小学校

POINT

センター会員から子ども達に 紙リサイクルの大切さを伝える

実施概要

実施日	2022年6月16日(木)
実施場所	富士市立吉永第二小学校
参加者	小学4年生　1クラス(17名)
講師	佐野克弥 (株)アカツキ 津國悦朗 (株)丸元紙業 野口賢一 (株)堤紙業 伊藤大造 日本製紙(株) 長橋宏和 事務局 和智哲也 (株)丸興佐野錦一商店 大石佳広 (株)日刊紙業通信社 長島由紀 静岡県製紙原料商業組合 三浦　純 日本製紙(株) (敬称略)

紙リサイクル講義の様子

紙リサイクル講義では、センター会員の佐野氏（株式会社アカツキ）に講師を努めていただき授業を実施しました。

授業では紙の原料となる木材パルプや古紙パルプなどについて観察してもらいました。普段使用している紙がパルプからできていることを知った子ども達から、驚きの声が上がっていました。また、普段紙を分別する際に古紙に出してはいけない紙（禁忌品）について○×クイズを実施しました。みんなで楽しみながら、分別する際のポイントについて学ぶことができました。

講義の内容に関して、子ども達の質問や感想が相次ぎました。この講義を通じて紙リサイクルへの関心や理解を深め、普段の生活からの分別への意識を高めてもらえたのではないかと思います。

佐野氏 /（株）アカツキ による講義

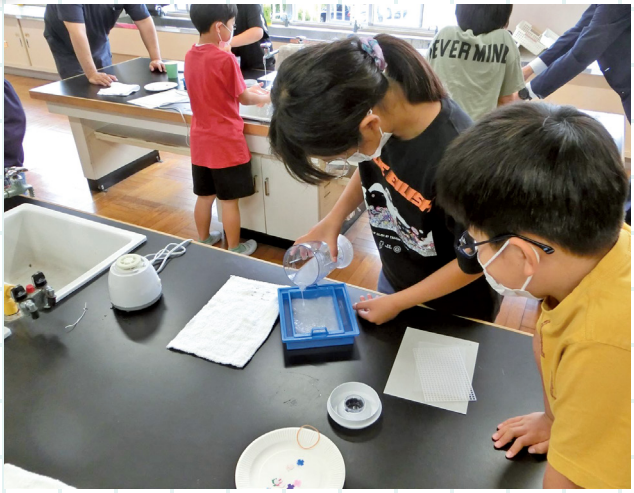
パルプ見本の観察

手すきはがき作りの様子

手すきはがき作りについても、センター会員の皆様に子ども達のサポートについてご協力いただきました。

不要になったコピー用紙を水と一緒にミキサーで細かくほぐし、すき枠に流し込んだはがきに星型などに切った色紙をちりばめてそれぞれオリジナルのはがきを作成していました。

使用済みのコピー用紙がはがきに生まれ変わる過程を体験し、紙リサイクルの大切さを実感する講義になりました。



関東地区

出前授業

世田谷区立 上北沢小学校

POINT

手すきはがき作りを通じて、紙リサイクルの大切さを実感する

実施概要

実施日	2022年6月9日（木）
実施場所	世田谷区立上北沢小学校（東京都世田谷区上北沢4-22-29）
参加者	小学4年生　3クラス（87名）
講師	古紙再生促進センター本部
概要	講義はZoomを用いて3クラス合同講義 手すきはがき作りは各クラスごとに分かれて実施（対面）

紙リサイクル講義の様子

紙リサイクル講義は、３クラス合同で Zoom を用いてオンライン講義を実施しました。

子どもたち一人ひとりにパルプの実物見本を配布し、実際に触って体験してもらいながら講義を進めました。講義の中のクイズの回答や質疑応答については iPad を活用し、オンライン環境でもスムーズなコミュニケーションを実現しました。

オンライン環境下でも、子どもたちが楽しくリサイクルの大切さを学ぶことのできる講義になりました。

手すきはがき作りの様子

手すきはがき作り体験については、クラスごとにランチルームにて対面で授業を実施しました。

初めに講師によるデモンストレーションが行われ、児童に実験の手順や注意事項、手すきはがき作りのポイントなどを伝えた後、班ごとに分かれてはがき作りを実施しました。

使い終わったコピー用紙を水と一緒にミキサーでかき混ぜ、紙の原料となる古紙パルプを作りました。これを観察した児童からは普段使用している紙がこのような物からできている事への驚きの声が上がっていました。各班のメンバーが協力し、お互いにサポートし合いながら手すきはがき作りを進めたことにより、全ての班で時間内にはがき作りが完了するというチームワークの良さを見ることができました。

使い終わった紙が自分たちの手によって実際にはがきに生まれ変わるという体験学習を通じて、講義で学んだ紙リサイクルへの理解がより深まりました。

講師によるデモンストレーションの様子

手すきはがき作りの様子

古紙再生促進センター 50th Memorial

当センターは 2024 年に創立 50 周年を迎えます。50 周年の節目に向けて、センターの歴史や出来事について振り返っていきます。

今回はセンターのマスコットキャラクター「カミリィ」ちゃんと「カミリィママ」について紹介します。

紙リサイクル促進大使　オリジナルキャラクター

「カミリィ」ちゃんと「カミリィママ」

作者

土器 修三 さん

北九州市小倉出身　イラストレーター

作者 コメント

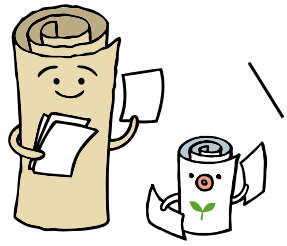
古紙から生まれる再生紙を紙の親子という設定で表現しました。

このキャラクターは紙リサイクルを広く促進する目的でオリジナルキャラクターのデザイン公募を行い、生まれました。

キャラクターデザインの募集は 2008 年に行われ、応募総数 789 点の中からグランプリとして選ばれたこのキャラクターをセンターの「紙リサイクル促進大使」として起用しました。

オリジナルキャラクターとして起用されて以来、啓発活動や広報事業で広く紙リサイクルの大切さを伝え続けてきました。

今後も当センターは「カミリィ」ちゃんと「カミリィママ」と共に紙リサイクルの促進に努め、資源・環境の保全に貢献する活動を続けて参ります。



＼数字でわかる！／

古紙の世界

前回は日本の紙リサイクルの歴史と現在の古紙回収率・利用率について紹介しました。
今回は実際の紙リサイクルの流れとポイント（分別・禁忌品）について紹介します。

紙リサイクルの流れ

家庭からの紙リサイクルの流れは大きく分けて４つの工程に分けられます。

1

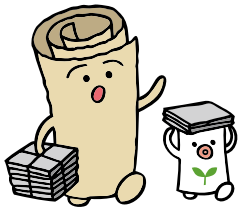
紙リサイクルのスタートは各家庭からの古紙の排出です。自治体の分別区分に従って、家庭で古紙を種類ごとに分別し、排出されます。家庭での分別が製紙原料としての古紙の品質維持に最も重要になります。排出された古紙は行政回収や集団回収を通じて古紙問屋に運び込まれます。

2

古紙問屋では、家庭から回収された古紙を運び込み、選別を行います。選別された古紙は種類ごとにベールと呼ばれる重さ１トンの塊に圧縮梱包されます。梱包された古紙は製紙工場へ出荷され、一部は国外に輸出されます。

1年で排出される古紙の量は約18,000千トン！**分別**することが紙リサイクルにとって重要です。

回収された古紙を運び込み、選別・圧縮梱包を行います。

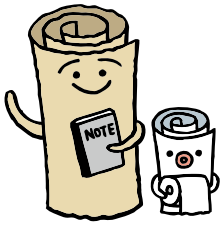


古紙を原料に紙・板紙を製造します。1年間で約24,000千トンもの紙・板紙が生産されています。

段ボール箱やコピー用紙、トイレットペーパーなど様々な紙製品に加工され、使用されます。

4

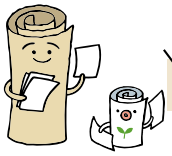
最後に生産された紙は紙加工工場にて様々な紙製品に加工され、小売店などで販売されます。



3

製紙工場では古紙をパルパー（古紙をほぐして繊維にもどす機械）に順次投入していきます。古紙をほぐした繊維（古紙パルプ）は異物除去の工程を経たのちに抄紙工程（紙を製造する工程）に送られ、紙が製造されます。

このような紙製品を使用し、再度分別・排出を行うことで紙リサイクルは循環していくのです。



数字でわかる！ 古紙の世界

分別が必要な理由

古紙が新聞、雑誌、段ボール、雑がみ、飲料用紙パックなどの分別区分に分かれている理由は、それぞれの古紙の特徴が違い、種類ごとに製品の原料として使い分けているからです。例えば、段ボール古紙はリサイクルされると新しい段ボール箱に生まれ変わり、新聞古紙はリサイクルされると新しい新聞やコピー用紙に生まれ変わります。このように生まれ変わる製品によって使う古紙が違うため、同じ古紙でも種類ごとに分別する必要があるのです。皆様の普段の分別が安定的な紙製品の供給につながっているのです。

■古紙の種類と主な紙製品の例

古紙

段ボール古紙

製品

段ボール箱

古紙

新聞古紙

製品

新聞紙

コピー用紙

古紙

雑誌古紙

製品

お菓子箱など

段ボール箱

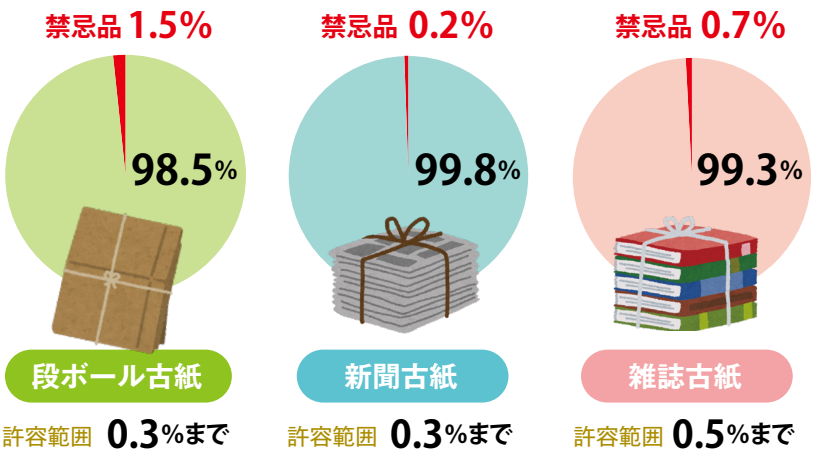
リサイクルすることができない紙類や異物（禁忌品）

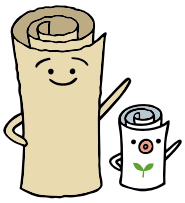
古紙の分別に加え、紙リサイクルを行う上で重要なポイントがもう１点あります。それは「禁忌品」と呼ばれるリサイクルできない紙類や異物を取り除くことです。禁忌品が混入してしまうと生産工程での不良品の発生や機械トラブルの原因につながります。禁忌品をしっかり取り除き、種類ごとに分別して排出することで、製紙原料としての古紙の品質を高く保つことができます。

禁忌品の混入割合

段ボール古紙、新聞古紙、雑誌古紙における禁忌品の混入割合をグラフで示しました。品種によっては許容範囲を超えているものもありますが、海外の古紙品質と比べると禁忌品の混入割合は非常に低く、皆さんの日頃からの分別への協力が日本の高い古紙品質を作り上げています。

古紙品種別禁忌品混入割合（2021年度調べ）





禁忌品の紹介

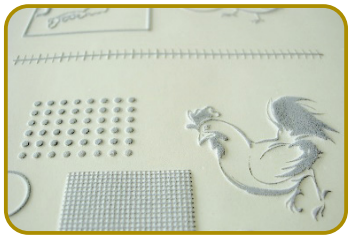
排出する際にしっかりと取り除くことが重要な禁忌品について、混入してしまうと大きな影響を与えてしまうなものをいくつか紹介します。

昇華転写紙

鞄や靴の詰物としてとして使用されることがあります。
また、アイロンプリント紙として使用されています。
A4 用紙 1 枚の混入で、約 100 トンもの不良品を発生させてしまいます。

感熱性発泡紙

主に点字印刷物に使用されています。
A4 用紙 1 枚の混入で、約 100 トンもの不良品を発生させてしまいます。



禁忌品はこの他にもたくさんの種類があります。禁忌品の一覧についてはこちらからご確認ください。

全国小中学生 “紙リサイクル”コンテスト 2022 募集開始のお知らせ

今年度も全国小中学生“紙リサイクル”コンテストを開催することとなりました。

本コンテストは次世代を担う小中学生に、資源の有効利用である「紙リサイクル」について関心を持ってもらうことを目的として、全国の小中学生から紙リサイクルに関する活動をテーマとした作文・ポスターを募集しています。また、持続可能な社会や SDGs が広く取り上げられる昨今の世界情勢において、それらの達成に大きく寄与する紙リサイクル活動への関心・理解を深めることは重要であり、今年度から既存のテーマに加え、「紙リサイクル活動と持続可能な社会づくり」という新たなテーマを追加しました。

今年度の募集チラシや過去の受賞作品を掲載しています。内容をご確認いただき、日頃からお付き合いのあります小学校・中学校に本コンテストをご紹介頂ければ幸いです。

過去の受賞作品

紙リサイクルコンテスト 2021
文部科学大臣賞　ポスター部門

紙リサイクルコンテスト 2020
文部科学大臣賞　ポスター部門

上記は受賞作品の一部です。
過去の受賞作品はこちら！

今年度の
募集チラシはこちら！

作文・ポスター大募集！

第14回 全国小中学生 “紙リサイクル” コンテスト2022

締切 2022年12月9日（当日消印有効）

テーマ

- 紙リサイクルに関する活動・体験やアイデア
- 紙リサイクル活動と持続可能な社会づくり

テーマを選んで書いてみよう

紙リサイクル促進大使
「カミリィ」ちゃんと「カミリィママ」

紙リサイクルについて

“紙リサイクル”とは、読み終わった新聞や雑誌、使い終わった段ボール、紙パックを回収し、資源に戻して新たな紙の原料に利用することです。

3R
- Reduce（リデュース）ごみを少なくする
- Reuse（リユース）再使用
- Recycle（リサイクル）再資源化

コンテストではリサイクルに注目しているよ

持続可能な社会について

持続可能な社会は健全で恵み豊かな環境を通じ、将来にわたって一人ひとりが幸せを実感できる社会のことです。この社会を実現するために「SDGs」を掲げて、一人ひとり実践することが大切です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SDGs（エスディージーズ）とは
- Sustainable（サステナブル）▶持続可能な
- Development（デベロップメント）▶開発
- Goals（ゴールズ）▶目標

「紙リサイクル」と「持続可能な社会」のつながり

紙リサイクルは資源の有効活用や森林資源の適切な利用につながっており、持続可能な社会に大きく貢献する行動です。

古紙の分別やリサイクルされた製品を使う事など

皆さんの身のまわりの小さな活動が持続可能な社会につながっているよ！

応募者全員に参加賞

紙リサイクルノートプレゼント！

文部科学大臣賞 **学校特別賞／学校奨励賞** を設けています！（各賞受賞者・受賞校には賞状、副賞を差し上げます）

1回1梱包30作品以上ご応募していただける場合に限り、事務局で送料負担いたします。

【申請方法】30作品以上の応募作品がございましたら、学校・教室から事務局に①学校名、②住所、③電話番号、④担当の先生のお名前を明記の上、FAXでご連絡ください。
事務局より発送用伝票（着払い）を送付させて頂きます。

お問い合わせ先

〒105-0013 東京都港区浜松町1-23-4 浜松町昭栄ビル4F
『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022』事務局（CISC内）
TEL.03（5777）1322／FAX.03（3432）4044

応募方法など詳しくは裏面をご覧ください。

紙リサイクルのアニメーションも見てね

過去の受賞作品はHPで公開中！
紙リサイクルコンテスト 検索
http://www.prpc.or.jp/activities/public_relations/?id=contest#contest

《主催》 公益財団法人古紙再生促進センター
《後援》 文部科学省 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国市町村教育委員会連合会
全国小中学校環境教育研究会 読売新聞社 全国製紙原料商工組合連合会
日本再生資源事業協同組合連合会 段ボールリサイクル協議会 日本製紙連合会

令和3年度 センター日誌

3月分

月	日	会議名	主要議題
3月	3日（木）	第4回輸出委員会（Web会議システム併用）	❶古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換 ・古紙発生の現状及び見通し ・国内製紙会社の古紙消費の現状及び見通し報告 ・古紙輸出に関するトピックス及び見通し ❷2022年度の輸出委員会に関するスケジュールについて ❸2022年度以降の輸出委員会の委員、活動について ❹その他
	11日（金）	九州地区委員会（Web会議システム併用）	❶古紙の需給・市況動向について ❷古紙の品質について ❸「全国小中学生"紙リサイクル"コンテスト2021」受賞作品集について ❹令和4年度九州地区活動計画について ❺令和4年度九州地区委員名簿配付 ❻コロナ禍における集団回収実施団体への感謝状の贈呈に係る運用について（2022年版） ❼令和4年度九州地区総会 ❽令和4年度九州地区社長会 ❾海外トピックス関連資料 ❿古紙再生促進センター50周年記念ロゴマーク案内 ⓫紙リサイクルオンラインセミナー開催について
	14日（月）	3月度常任理事会	❶通常理事会の事前打ち合わせ ・役員賠償責任保険への加入について（案） ・臨時評議員会の開催について（案） ・職務執行状況報告について（報告） ❷令和3年度第10回業務委員会議事次第について ❸その他 ・今後のスケジュールについて
		通常理事会（Web会議システム併用）	第1号議案　令和4年度事業計画書・収支予算書（案）について 第2号議案　令和4年度資金調達及び設備投資の見込み（案）について 第3号議案　特定費用準備資金取扱規則の制定について（案） 第4号議案　役員賠償責任保険への加入について（案） 第5号議案　臨時評議員会の開催について（案） 報告事項　職務執行状況について
		第10回業務委員会（Web会議システム併用）	❶通常理事会の報告について ❷各地区の古紙需給・市況動向について ❸「全国小中学生"紙リサイクル"コンテスト2021」受賞作品集について ❹その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
	17日（木）	北海道地区委員会（Web会議システム併用）	❶古紙共販集計表について ❷古紙需給動向について ❸古紙消費実績と計画対比表について ❹北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について ❺古紙消費量、在庫量推移グラフ ❻情報交換 ❼その他 ・令和4年度集団回収感謝状贈呈について ・令和4年度広報事業について ・リサイクルアドバイザー試験について ・「全国小中学生"紙リサイクル"コンテスト2021」受賞作品集について
	24日（木）	静岡地区委員会（Web会議システム併用）	❶古紙の需給・市況動向について ❷令和3年度活動実績 ❸集団回収実施団体への感謝状贈呈について ❹令和4年度地区活動計画 ○広報事業　・紙リサイクル出前授業 ・雑がみ回収用袋の発注 ○地区事業　・委員情報意見交換会 ❺「全国小中学生"紙リサイクル"コンテスト2021」の審査結果について ❻その他 ・古紙月報と地区委員会報告（議事録）の送付方法変更の検討について ・委員名簿の確認 ・古紙再生促進センター50周年記念ロゴマークについて ・中長期的課題整理に向けたオンラインセミナーについて ・大型連休期間中の古紙受け入れ計画の調査について ・今後の静岡地区委員会の開催予定
3月	25日（金）	関東地区委員会（Web会議システム併用）	❶古紙需給動向（古紙問屋） ❷古紙及び製品需給動向（製紙会社） ❸古紙品質トラブル報告 ❹禁忌品見本帳について ❺自治体向け紙リサイクルハンドブックについて ❻コロナ禍における集団回収実施団体への感謝状の贈呈に係る運用について（2022年度） ❼その他 ○中長期的課題整理に向けたオンラインセミナーついて ○今後の関東地区委員会等の開催予定
		近畿地区委員会（Web会議システム併用）	❶古紙の需給・市況動向について ❷検収委員会報告 ❸その他 ・今後の近畿地区委員会等の開催予定
	28日（月）	中・四国地区委員会（Web会議システム併用）	❶製紙メーカー生産状況・古紙入荷状況 ❷各地区の古紙市況報告 ❸質疑応答 ❹その他
	30日（水）	第10回家庭紙委員会（Web会議システム併用）	❶古紙入荷・消費・在庫、古紙地域別入荷 ❷古紙需給の現状及び見通しに関する意見交換 ・古紙発生の現状、見通し、古紙輸出、トピックス等 ・メーカー消費の現状及び見通し ・意見交換 ❸古紙品質に関する情報交換 ・メーカーでの品質トラブル、禁忌品報告 ❹その他 ・今後の家庭紙委員会の開催予定
	31日（木）	臨時評議員会（書面審議）	❶議題、議案 ・理事の選任について

令和4年度 センター日誌

4～6月分

月	日	会議名	主要議題
4月	14日（木）	九州地区委員会	❶古紙の需給・市況動向について ❷古紙の品質について ❸令和4年度地区活動計画、継続事業について ・親と子の紙リサイクル読本発行（令和4年9月～10月発行予定） ・小学生対象のリサイクルバスツアー（令和4年9月～令和5年2月実施予定） ・集団回収実施団体への感謝状贈呈について ・小学生対象の紙リサイクル出前授業の開催について ・「全国小中学生"紙リサイクル"コンテスト2022」の募集について ❹令和4年度九州地区委員会総会について ❺紙リサイクル意見交換会、研修会の実施協力についてのお願い ❻webセミナー開催の参加要請 ❼その他
	15日（金）	中部地区委員会東海分会	❶古紙の需給・市況動向について ❷コロナ禍における集団回収実施団体への感謝状の贈呈に係る運用について（2022年度） ❸紙リサイクル出前授業の募集案内 ❹令和3年度予算実績管理表 ❺その他 ・今後の中部地区委員会等の開催予定
	21日（木）	静岡地区委員会（Web会議システム併用）	❶古紙の需給・市況動向について ❷事務局からの連絡事項 ○令和4年度紙リサイクル出前授業について ・実施計画 ・講師養成講座の実施方法について ○集団回収実施団体への感謝状贈呈について ○雑がみ回収用袋の発注について ・20,000袋を発注済み、5月入荷予定 ○活性化行事について ○Webセミナーの開催について ❸その他 ・今後の静岡地区委員会の開催予定

月	日	会議名	主要議題
4月	27日（水）	関東地区委員会（Web会議システム併用）	❶古紙需給動向（古紙問屋） ❷古紙及び製品需給動向（製紙会社） ❸古紙品質トラブル報告 ❹令和3年度関東地区古紙開梱組成品質調査結果について（報告） ❺2022年4月～9月における段ボール、新聞、雑誌の消費計画について ❻その他 ○Webセミナーの開催について ライブ配信5月24日（火）14:00～15:00 録画配信6月1日（水）～30日（木） ・講演内容：タイ経済の現状と今後の見通し ・講師：日本貿易振興機構（ジェトロ）海外調査部 アジア大洋州課リサーチマネジャー　田口裕介氏 ○紙リサイクル研修会 5月13日（金）つくば・市民ネットワーク（オンライン） 6月2日（木）自治体の新人廃棄物担当向け（Webセミナー） ○紙リサイクル出前授業 5月16日（月）北区立浮間中学校 6月9日（木）世田谷区立上北沢小学校 6月15日（水）上尾市立原市南小学校 6月18日（土）板橋区 7月22日（金）朝霞市 ○今後の関東地区委員会等の開催予定
		近畿地区委員会（Web会議システム併用）	❶古紙の需給・市況動向について ❷その他 ・今後の近畿地区委員会等の開催予定
	28日（木）	4月度常任理事会	❶理事会と定時評議員会の招集及びその目的事項について ❷任期満了等に伴う理事・評議員候補について ❸全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022について ❹集団回収実施団体への感謝状贈呈について（承認事項）（静岡地区委員会からの推薦） ❺令和4年度第1回業務委員会議事次第について ❻その他 ・今後のスケジュールについて
		第1回業務委員会（Web会議システム併用）	❶各地区の古紙需給・市況動向について ❷2022年4月～9月における段ボール、新聞、雑誌の消費計画について ❸集団回収実施団体への感謝状贈呈について（静岡地区委員会からの推薦） ❹自治体の新人廃棄物担当向け研修 ❺インド紙リサイクル構築支援事業について ❻その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
5月	12日（木）	財務委員会	❶令和3年度事業報告（案）について ❷令和3年度決算報告（案）について ❸その他
	13日（金）	監事会	❶令和3年度事業の執行状況について ❷令和3年度決算の監査について ❸その他
	18日（水）	近畿地区委員会（Web会議システム併用）	❶古紙の需給・市況動向について ❷その他 ・今後の近畿地区委員会等の開催予定
	20日（金）	東北地区委員会	❶報告事項 ・業務委員会報告等 ・関東地区委員会報告 ❷古紙の需給・市況動向について ・古紙需給動向（製紙会社） ・古紙需給動向（古紙問屋） ・意見交換 ・その他 ❸センター事業について ○公益事業の強化、拡大策 ・古紙品質情報ネットワークの運用 ・紙リサイクル出前授業の実施拡大について ・紙リサイクル意見交換会・研修会について ・集団回収特別活動賞の設定について ○9月第一日曜日開催予定の仙台市エコフェスタの参加について ○秋の移動例会の日程、場所について ❹その他 ・今後の東北地区委員会等の開催予定

月	日	会議名	主要議題
5月	23日（月）	5月度常任理事会	❶通常理事会（5/23）、定時評議員会（6/17）及び臨時理事会（6/17）の上程議案について ❷職務執行状況について（6月17日開催の臨時理事会において報告予定） ❸集団回収実施団体への感謝状贈呈について（北海道地区委員会、九州地区委員会の推薦） ❹全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022について ❺新年互礼会について 開催日時：令和5年1月6日（金）13:30～15:30 場所：経団連会館ダイアモンドルーム ❻令和3年度及び4年度調査研究事業概況報告 ❼令和4年度第2回業務委員会議事次第について ❽その他 ・今後のスケジュールについて
		通常理事会（Web会議システム併用）	第1号議案　令和3年度事業報告について 第2号議案　令和3年度決算報告について 第3号議案　定時評議員会の開催について 第4号議案　業務執行理事の選定について 第5号議案　副理事長の選定について
		第2回業務委員会（Web会議システム併用）	❶通常理事会の報告について ❷各地区の古紙需給・市況動向について ❸集団回収実施団体への感謝状贈呈について（北海道地区委員会、九州地区委員会の推薦） ❹全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022について ❺2021年度（令和3年度）古紙品質調査について（報告） ❻その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
	26日（木）	北海道地区委員会（Web会議システム併用）	❶センター事業関連、協力のお願いについて ❷SDGsについてのアンケートの協力について ❸古紙共販集計表について ❹古紙需給動向について ❺古紙消費実績と計画対比表について ❻北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について ❼古紙の消費量と在庫量の推移 ❽情報交換 ❾その他 ・令和4年度集団回収感謝状贈呈式のスケジュールについて ・令和4年度広報事業について ・SDGsをテーマにした今後の活動について
		静岡地区委員会（Web会議システム併用）	❶センター事業関連について ❷古紙の需給・市況動向について ○古紙の市況動向・品質状況報告 ○段ボール原紙輸出の今後の見通し ❸事務局からの連絡事項 ○令和4年度紙リサイクル出前授業について ・実施計画 ・シルバー人材の活用検討について ○集団回収実施団体への感謝状贈呈について ・贈呈式の実施方法について ○雑がみ回収用袋の製作について ・静岡市内小学校からの提供依頼について ○活性化行事について ○講演会について ○委員懇話会について ❹その他 ・自治体の新人廃棄物担当向け研修会について ・今後の活動計画 ・今後の静岡地区委員会の開催予定
	27日（金）	関東地区委員会（Web会議システム併用）	❶古紙需給動向（古紙問屋） ❷古紙及び製品需給動向（製紙会社） ❸古紙品質トラブル報告 ❹2022年度からの輸出委員会運営・賛助会費について（お願い） ❺その他 ○全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022について ・応募期間：6月上旬～12月9日（金）当日消印有効 ・表彰式：（予定）2023年3月4日（土） ○Webセミナー ・録画配信：6月1日（水）～30日（木） ・講演内容：タイ経済の現状と今後の見通し ・講師：日本貿易振興機構（ジェトロ） 海外調査部アジア大洋州課 リサーチマネジャー　田口裕介氏

月	日	会議名	主要議題
5月	27日（金）	関東地区委員会（Web会議システム併用）	○紙リサイクル研修会 5月13日（金）つくば・市民ネットワーク（オンライン） 6月2日（木）自治体の新人廃棄物担当向け（Webセミナー） ○紙リサイクル出前授業 6月9日（木）世田谷区立上北沢小学校 6月15日（水）上尾市立原市南小学校 6月18日（土）板橋区（板橋区立リサイクルプラザ） 7月22日（金）朝霞市（朝霞市リサイクルプラザ） ○今後の関東地区委員会等の開催予定
	30日（月）	地区事務局会議（Web会議システム併用）	❶事業全般について ❷古紙品質安定対策事業について ❸広報事業について ❹調査研究事業について ❺紙の資源リサイクル安定化対策事業について ❻その他事業全般について ❼各地区との意見交換・自由意見等
6月	16日（木）	第11回家庭紙委員会（Web会議システム併用）	❶古紙入荷・消費・在庫、古紙地域別入荷 ❷古紙需給の現状及び見通しに関する意見交換 ・古紙発生の現状、見通し、古紙輸出、トピックス等 ・メーカー消費の現状及び見通し ・意見交換 ❸古紙品質に関する情報交換 ・メーカーでの品質トラブル、禁忌品報告 ❹家庭紙古紙関連調査結果について ・家庭紙向け原料　今後の見通し ❺その他 ・センター事業関連（ご協力のお願い） ・今後の家庭紙委員会の開催予定
	17日（金）	定時評議員会（Web会議システム併用）	第1号議案　令和3年度決算報告の承認の件 第2号議案　理事の選任に関する件 第3号議案　評議員の選任に関する件 報告事項 ❶令和3年度事業報告について ❷令和4年度事業計画及び収支予算の報告について
		臨時理事会（Web会議システム併用）	報告事項（1） 定時評議員会の決議事項等について 第1号議案　業務執行理事の選定について 第2号議案　専務理事の選定について 第3号議案　常勤役員の報酬について 報告事項（2） 代表理事・業務執行理事の職務執行状況について
		第3回業務委員会（Web会議システム併用）	❶定時評議員会の報告について ❷臨時理事会の報告について ❸各地区の古紙の需給・市況動向について ❹その他 ・今後の業務委員会等の開催予定
	20日（月）	近畿地区委員会	❶古紙の需給・市況動向について ❷その他 ・今後の近畿地区委員会等の開催予定
	22日（水）	関東地区委員会（Web会議システム併用）	❶古紙需給動向（古紙問屋） ❷古紙及び製品需給動向（製紙会社） ❸古紙品質トラブル報告 ❹その他 ○自治体の新人廃棄物担当向け研修 録画配信：6月3日（金）～30日（木） 講演内容 ・紙リサイクルの基礎知識 講師：当センター業務部業務課担当課長　濱野 ・製造・古紙利用の現場から 講師：王子マテリア株式会社 技術本部品質管理部　副部長　磯部氏 ・古紙問屋・集荷の現場から 講師：全国製紙原料商工組合連合会 渉外広報委員会前委員長　須長氏 ○Webセミナー ・録画配信：6月1日（水）～30日（木） ・講演内容：タイ経済の現状と今後の見通し ・講師：日本貿易振興機構（ジェトロ） 海外調査部アジア大洋州課 リサーチマネジャー　田口裕介氏 ○全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022について ・応募期間：6月上旬～12月9日（金）当日消印有効 ・表彰式：（予定）2023年3月4日（土）

月	日	会議名	主要議題
6月	22日（水）	関東地区委員会（Web会議システム併用）	○紙リサイクル研修会 5月13日（金）つくば・市民ネットワーク（オンライン） 6月2日（木）自治体の新人廃棄物担当向け（Webセミナー） ○紙リサイクル出前授業 7月22日（金）朝霞市（朝霞市リサイクルプラザ） 8月9日（火）世田谷区松原地区 ごみ減量・リサイクル推進委員会 ○今後の関東地区委員会等の開催予定
	24日（金）	中部地区三分会合同総会、地区委員会	総会 第1号議案　令和3年度決算報告、監査報告 第2号議案　役員及び地区委員の紹介 第3号議案　令和3年度決算並びに令和4年度地区事業費の配分について 第4号議案　令和3年度決算並びに令和4年度地区支援費の配分について 第5号議案　その他 地区委員会 ❶古紙の需給・市況動向について ❷その他 今後の中部地区委員会各分会の開催予定
		九州地区委員会	❶センター事業関連アンケート等ご協力のお願い ❷2022年度からの輸出委員会運営、賛助会費について ❸令和4年度地区委員会行事計画 ❹その他 ・オンライン紙リサイクル出前授業の案内について ・紙リサイクルコンテスト2022の応募について ・会報内容の充実を図るための情報提供の依頼 ・紙リサイクル研修会実施協力依頼
	27日（月）	中・四国地区委員（Web会議システム併用）	❶製紙メーカーの生産状況・古紙入荷状況 ❷古紙の需給・市況動向について ❸質疑応答 ❹その他
	28日（火）	静岡地区委員会（Web会議システム併用）	❶古紙の需給・市況動向について ❷事務局からの連絡事項 ○広報事業 ・紙リサイクル出前授業の実施報告及び今後の計画について ・雑がみ回収用袋製作 ○地区事業 ・講演会 開催日時：8月23日（火）16:30～17:30 開催場所：ホテルグランド富士 演題：SDGsについて（仮） 演者：（公財）古紙再生促進センター専務理事 川上正智 ・委員懇話会 開催日時：8月23日（火）17:40～19:10 開催場所：ホテルグランド富士 ・委員研修会 開催日時：10月20日（木）～22日（土） ○地区事務局会議報告 ・古紙品質安定対策事業 古紙品質情報ネットワーク 禁忌品見本帳 ○広報事業 ・新規ノベルティ ・全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2022 ・SDGsレポート作成への協力依頼 ・集団回収感謝状贈呈 ○紙の資源リサイクル安定化調査事業 ・オープンセミナー ○その他 ・webセミナー ・50周年記念ロゴ ❸その他 ・岳南排水路点検に伴う工場休転時の古紙受け入れ予定について 対象期間：7月23日（土）～8月1日（月） ・今後の静岡地区委員会等の開催予定

編集後記

本号は令和３年度事業報告について掲載しました。新型コロナウイルス感染症や国際情勢の変化など、大きく社会が変わりつつある中で、持続可能な社会に貢献する「紙リサイクル」という普遍的な活動の啓発に引き続き努めて参ります。

さて、本号では紙リサイクル出前授業の実施報告を掲載しました。オンライン方式も活用しながら、各地の小学校にて授業を実施する機会も増えてきました。将来を担う子ども達への紙リサイクルの授業は、紙リサイクルを継続していく上でとても大切です。今後もオンラインを含めた様々な形式で広く啓発を続けて参ります。

出前授業実施の際は皆様にご協力のお願いをすることもあるかと存じますが、その際はお力添えいただきますよう関係者の皆様にお願い申し上げます。（武田）

地区委員会事務局

地区	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
北海道	060-0002	札幌市中央区北二条西2丁目 リージェントビル5階	011（271）1551	011（232）0017
東北	980-6003	仙台市青葉区中央4－6－1 住友生命仙台中央ビル3階 日本紙パルプ商事（株）北日本支社内	022（225）3359	022（261）4522
関東	104-0042	東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4階	03（3537）6822	03（3537）6823
静岡	417-0801	富士市大渕2590番1号 静岡県富士工業技術支援センター内	0545（35）5270	0545（35）5026
中部	450-0002	名古屋市中村区名駅3丁目25番9号 堀内ビル7階	052（582）1836	052（581）6943
近畿	541-0052	大阪市中央区安土町1丁目7番13号 トヤマビル7階 日本製紙連合会関西支部内	06（6262）6315	06（6262）6316
中・四国	799-0492	四国中央市三島紙屋町2番60号 大王製紙（株）内	0896（23）9124	0896（23）4411
九州	812-0011	福岡市博多区博多駅前4丁目13番27号 グランドハイツ博多314号	092（292）5381	092（292）5382

会報 news LETTER
第 48 巻第 3 号
2022 年 7 月 11 日

発行所
公益財団法人古紙再生促進センター
〒 104-0042 東京中央区入船 3 丁目 10 番 9 号　新富町ビル 4F
電話 03（3537）6822（代表）
ホームページ http://www.prpc.or.jp

発行人　川上 正智
印刷所　日本印刷株式会社

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

古紙再生促進センターは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

17 パートナーシップで目標を達成しよう

公益財団法人 古紙再生促進センター

2024 50th ANNIVERSARY